

当院の不妊治療で、

フィリピンの弁護士夫婦が双子を授かった

- ◆ 出典：国際医療センター
- ◆ 発表日：2009年10月07日
- ◆ 翻訳：国際医療センター
- ◆ 訳文発表：2010年2月24日

Lizaはフィリピンのマニラに住む、35歳の女弁護士。彼女は結婚してから長い間子供を望んでいましたが、なかなか子供に恵まれませんでした。ご夫婦はフィリピンで何人かの不妊治療名医に相談し、いろんな治療を受け、お金も時間もかなりかかりましたが、希望通り妊娠することができませんでした。

妊娠への強い願望を持っていましたので、ご夫婦は諦めることなく不妊治療を受け続けていました。ある日、彼らは知人の紹介で、台湾の台大病院は不妊治療で高名を得ていることを知りました。それに、台大病院の治療成功率はアジアの各病院より高く、料金も合理的でしたので、2007年、Lizaは台大病院に診療を求めに来ました。

不妊治療は少なくとも一ヶ月の長時間治療が必要ですので、台湾を訪れ

たことのない Liza にとって、不安を抱えていたのは当然です。幸い台大病院国際医療センターのスタッフの手配で、彼女は無事に台北に着き、便利で安全、且つ料金も高くないビジネスホテルに泊まることができました。

また、治療を受ける前に、Liza はすでにメールで国際医療センターの看護婦と親しくなっていました。親しんでいる看護師の案内で、Liza もリラックスして、台大病院人工生殖センターの手配する一連の検査とヘルモンや卵子取るなどの治療を受けました。その同時に、Liza のご主人とも連絡を取り、台湾へ人工授精手術に来てもらいました。

妊娠を望んでいる方は、ストレスを持たないように、毎日愉快的気持ちで子供をもうけるのを待つがいい。この長い治療期間に、国際医療センターのスタッフが Liza にリラックスさせるため、台湾ならではの夜市に連れて行ってさせたり、買い物したりしました。また、フィリピン籍の神父が常駐する教会を見つけ、みんなで一緒に教会へ子授けを祈りに行きました。これらの予想外の思いやりに、Liza はとても感動しました。

受精卵を体内に移植した後、Liza とご主人は台湾を後にしてフィリピンで治療結果を待つことにしました。その後、ご夫婦から双子を妊娠し、しかも減数手術をしなくてもいいというよいお知らせが届きました。Liza は台湾台大病院でわずか 4000 米ドルをかかって、長年の夢を叶いました。2008 年、彼女はマニラで無事に双子を出産しました。ご夫婦は異国の台湾で、人生たった一つの夢を叶い、そして幸せな家庭生活を展開しました。